

5 放物線 $y = x^2$ の上に、2点 A, B がある。 A, B の x 座標をそれぞれ $-\frac{1}{2}, \frac{3}{2}$ とする。この放物線上の任意の点 P の座標を (x, y) とするとき、 $PA^2 + PB^2$ を x の関数(関数)として表わし、この関数の増減、おうとつ、極値、変曲点をしらべて、グラフの概形をかけ。